

★安全安心の学校方向性ニュース(生徒のみなさん・保護者のみなさまへ)

## ●1年生・2年生の国語科の授業に関して

現在、数学科の南郷美佳教諭と国語科の松田智子教諭両名が8月より産休に入っています。

数学科の代替教員が決まりましたのでご報告いたします。

### 数学1学期

1年生(南郷先生・藤吉先生)

2年生(松本先生・南郷先生)

3年生(藤吉先生・南郷先生)

### 数学2学期以降新体制

(南郷教諭⇒松本常勤講師・松本非常勤講師⇒竹原非常勤講師)

1年生(竹原先生・藤吉先生・松本先生)

2年生(松本先生)

3年生(藤吉先生・松本先生)

上記のように数学科は、代替教員が確保できました。

しかし、国語科は大阪府全域で講師が不足しています。河内長野市教育委員会が4月から講師を募集していますが、現時点で国語科の代替教員は見つかっていません。

そこで、校長の松原が自習学習をサポートする形で1・2年生の国語を担当します。

ただし、コロナ禍により学習進度も遅れています。そこで少しずつ学習内容を前に進めています。

今後も、大阪府教育庁・河内長野市教育委員会の担当者に、国語科の代替教員を探すようお願いしています。ご理解ください。

## ●修学旅行に関して

3年生は、9月16日（水）・17日（木）・18日（金）の3日間、長野方面へ修学旅行に行きます。

3年生の保護者のみなさまには、すでに8月初旬に参加同意書をご提出いただいています。その後の感染拡大などもあり心配は増えているのですが、3年生の思い出作りのために三密対策を整えつつ、できる限り実施する方向で考えています。

もし、参加を迷われているご家庭があれば、はやめに学校までご相談ください。

なお、前述の通り、現在校長の松原は1・2年生の国語の授業を受け持っています。本来ならば、修学旅行の引率をしなければならないのですが、残念ながらできません。引率責任者として、教頭の神田が参加しますのでよろしくお願いします。なお、修学旅行説明会でもお話しした通り、神田は現地での緊急対応に備えて、自家用車で参加する予定です。

市内では、加賀田中学校と長野中学校が無事に修学旅行に行って元気に帰ってきています。両校とも情報交換しながらも、本校の修学旅行も成功させたいと思いますので、よろしくお願いします。

## ●熱中症対策について

大変暑い日が続いています。登下校や体育の屋外での活動などでの熱中症の心配がありません。2点確認します。

・登下校時は、帽子（必ず、学年・組・名前の記入をしてください。種類は野球帽の形でお願いします）・肩から下げる水にぬれたタオルの使用を許可します。

・体育の屋外での活動時は、帽子（必ず、学年・組・名前の記入をしてください。種類は野球帽の形でお願いします）の使用を許可します。

なお、十分な睡眠や食事など規則正しい生活習慣を確立することも重ねてお願いします。

## ★西中プライド(生徒のみなさんに望むこと)

保護者のみなさま・地域のみなさまとの双方向型学校だより

双方向の学校だより 保護者からの応援メッセージ

## 「コロナウイルス感染拡大の中、3月から8月まで頑張ってきた子どもたちにかきたい1つのことば」

**外へ出られず、しんどかっただろうけど、家のことをしっかりしてくれて感謝しているよ。ありがとう**

私はこの文章を読んだとたん、頭の中で「いきものがかり」さんの「ありがとう」という歌の最初フレーズが鳴り響きました。

「“ありがとう”って伝えたくて～、あなたを見つめるけど～、繋がれた右手は、誰よりもやさしく、ほら、この声を受け止めてる～」

この歌詞の感謝の対象はご夫婦の中のことだけれど、この言葉は広く使えますよね。始業式にも言いましたが「歴史の教科書にも載るであろう」このコロナウイルスの状況下、あなたがどう生きたかをしっかり覚えておいてください。そして、あなたの子どもや孫にもそのお話をしてあげて下さい。

## ★アラビアンナイト(千夜一夜物語)シーズン2最終話

### 観光大国ドバイ・アブダビ

ドバイやアブダビはこの20年ほどの間にすさまじいほどの進歩を遂げ、UAEは今や世界有数の観光大国になりました。数ある観光名所を一気に紹介します。

フェラーリワールド・・・世界に鳴り響くイタリアの名車「フェラーリ」の遊園地です。現地(アブダビにあります)に行ってみると、数多くのフェラーリの実車が展示されてい

て、レーシングカーの博物館のような感じでした。また、館内には多数のアトラクションもあり、ジェットコースターは世界最速らしいです。私は怖くて乗らなかったのですが、それに乗った息子二人の感想によると、あまりの速さに自分が上に上がっているのか下に下がっているのかすらわからなかったと言っていました。



ドバイ室内スキー場・・・雪の降らない猛暑の砂漠の国に、室内のスキー場が出現しました。ただただ驚くばかりです。私自身は外から見ただけでここには行っていません。



数多くのモール・・・世界中のブランドがそろった巨大なショッピングセンターがあちちにもこっちにもあります。今回の旅でも私を思いきり疲弊させてくれました。

我が家の買い物スタイルは、巨大なショッピングセンターについたら、まずはフードコートに向かい席を確保し、適当な飲み物等を買って、息子や妻の荷物を預かり、私はただひたすらそこで待ちます。家族は散り散りに好きなブランドを買いに走り、買い物が終われば私のいる場所に戻ってきます。私は心の中で、「何をしにこの遠い国に来たのかなあ」と思いつつ、買い物で増えた荷物を運びます。恨めしいほど巨大なショッピングセンターは、歩くだけでいやになります。そして、ドバイにもアブダビにもそういう巨大なものが多数あります。でも大抵は売っているものはどこも同じです。巨大モール。私にとってはどれもこれも同じです。ただただ疲労の原因です。ちょっとうれしかったのは、「丸亀製麺」や「銀だこ」など、日本でもなじみのある店が近々オープンするという情報。海外でいるとどうしても日本食が恋しくなります。そこはうれしい発見でした。それとあるモールに行ったときに、世界一美しいスターバックスコーヒーという触れ込みの店がありました。確かに幾何学模様が大変美しかったです。



ビーチやプール・・・これらの施設も充実しています。ビーチはたいていホテルのビーチです。カラフルなパラソルが並び、プールには水につかってお酒を飲めるバーもあつたりします。砂浜ではラクダに乗れるサービスもありますし、海ではバナナボートやパラセーリングなどのアクティビティーが楽しめます。ドバイにもアブダビにも巨大なウォータースライダーがいくつもあるプールもあります。

ルーブル美術館・・・フランスパリにあるかの有名な美術館の分家のような存在です。今回は行けませんでした。いつか行けたらなあとは思っています。

旧市街のスーク（市場）・・・生地屋さん・靴屋さん・服屋さん・お土産物屋さん・香辛料を売る店・ゴールドを売る店。様々な種類の品物が売られています。その様子は20年前と全く同じ。歩いていてびっくりしたのは、店の人が日本人に向かって呼びかける言葉。「がりがりくん！！」きっとどこかの日本人が教えたのでしょうか。意味を知っているのか知らないのか、何度もいろんな人から「がりがりくん」と呼びかけられました。心の中で、「そんなにがりがりじゃないよ」って思いましたけど。でも、私にとっては、このスーク（市場）の呼びかける声や香辛料の香りは、異国情緒たっぷりで大好きな風景です。最新のモールより、自分には人でごった返しているスーク（市場）があっているなあと思いました。ドバイでは、アブラという乗り合いボートで移動も経験しました。お土産にターメリックやピスタチオなどを買いました。



以上をもって、アラビアンナイト（千夜一夜物語）の連載を終了します。  
続けて読んでいただいた人。ありがとうございました。

これで終わり？いや、しつこい校長先生はまだ新たな連載を考えています。  
次の連載は、

**「魔法のジュータンに乗って」**です。

ちょっと変わった世界の旅を紹介します。